



参政党新宿まなびとまもりの会では、新宿区政に関する情報や区議会報告の他、区民のみなさまのお役に立てる情報の発信をしていきます。

「ガバメントクラウド」ってご存じですか？

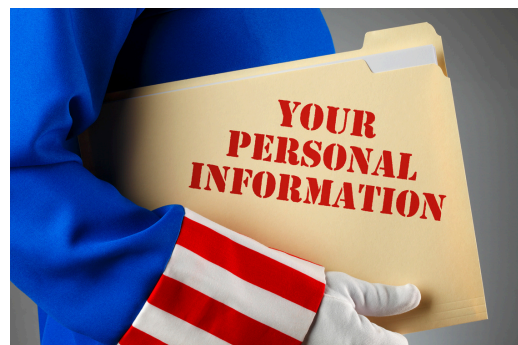
こんにちは。新宿区議会議員の青木ひとみです。

現在新宿区では、区役所の情報システムに関して標準準拠システムとガバメントクラウドへの移行を進めています。標準準拠システムとは、これまで自治体ごとにバラバラだった情報システムを、全国的に標準化・共通化するものです。また、ガバメントクラウドとは政府や自治体が利用する共通のクラウド環境のことで、標準準拠システムを動かす基盤となるものです。この移行により、コスト削減やセキュリティ強化などのメリットがあるとされています。

しかし、問題点もたくさんあります。一番の懸念はクラウドサービスの提供企業がほとんど海外の企業だということです。現在5社が登録されていますが、そのうち4社はアメリカの企業です。国産のサービスは1社だけであり、それも技術要件が完全には満たされていないということで、事実上はアメリカ企業のみが選択肢にある状況です。

アメリカには政府等が米国内の企業が保有・管理するデータにアクセスできるという法律があり、たとえデータが日本国内に保存されていたとしても、米国の法律に基づいて開示されてしまう可能性があります。

新宿区ではすでに住民基本台帳、印鑑登録、国民年金、国民健康保険などの情報がガバメントクラウドに移行されています。今後も順次区民の情報が移行されていきます。



私たちの個人情報をアメリカの企業が管理するという状態がすでに始まっています。

また、メリットとされているコスト削減やセキュリティ強化についても懸念があります。先日の予算特別委員会で確認したところによると、現時点では移行前に比べてコストは下がっていないということです。開発コストやハードウェアの買い替えなどの費用がなくなるので、長い目で見れば下がるとの見通しですが、クラウドサービスは料金が上昇傾向ですし、データ量によって金額が変わる従量課金制のものもあります。為替レートによる負担増も問題になっています。このままでは長期的にもコストが上がり続けるということにもなりかねません。



また、前述のようにアメリカ企業に管理されている状態では、社会情勢などの変化により、サービスが使用できなくなったり、利用が制限されたりする恐れもあります。

拙速にガバメントクラウドへの移行を進めるのではなく、もっと国内企業の参画を進めて国産サービスが利用できるようになってから取り組むべきではないでしょうか。

令和7年第1回定例会で一般質問をおこないました

令和7年第1回定例会が3月24日に終了しました。

参政党新宿まなびとまもりの会では、表面に記載したガバメントクラウドについてと、北朝鮮による拉致問題の啓発推進についての2点を一般質問で確認しました。

質問1

ガバメントクラウドについて

標準準拠システムとガバメントクラウドへの移行については多くの懸念点があります。特に管理するデータの権利がどこに帰属するのか、「データ主権」の問題が重要です。他にもコスト面、セキュリティ面などさまざまな観点から質問しました。

1 システムを標準化することによって区民にどのようなメリットがあるか。またこれまでに要した費用は。

2 米国の法律に基づいて米国政府等が区民のデータにアクセスできる可能性については認識しているか。

質問2

北朝鮮による拉致問題の啓発推進について

北朝鮮による拉致事件は、日本の主権を侵害し、多くの被害者とその家族の人生を大きく変えてしまった重大な国家犯罪です。この問題は決して風化させてはなりません。新宿区における拉致問題の啓発推進について質問しました。

1 区長は拉致問題についてどのような認識を持っているか。区として啓発にどのように取り組んでいくべきか。

2 区立学校における拉致問題の教育内容について。アニメや映画など視覚的なコンテンツは活用しているか。

区長答弁

①現時点では、区民にとって明らかなメリットはないが、将来的には、システム間の連携がスムーズになることにより、オンライン手続きやワンストップサービスの拡充など、行政のデジタル化が進むことが考えられる。

これまでに要した一時費用は16億2600万円、運用費は令和7年度で約5億円見込み。

②米国政府等がデータにアクセスできる可能性については認識しているが、区民の個人情報が見えられない措置及び情報漏洩を防ぐための措置が、国の責任で適切に講じられているものとする。

区長答弁

①拉致事件は、国民に対する人権侵害であり、国の主権及び国民の生命と安全に関わる重大な問題である。国と連携を図りながら、区民の関心と認識を深めるための啓発に取り組むことが重要である。

②小学校6年生の社会科、中学校の社会科公民的分野において、拉致問題や主権侵害について教えている。アニメやDVDなど視覚的に訴えるコンテンツも活用している。



2月11日の建国記念の日に四谷区民ホールで映画「めぐみへの誓い」の上映会を開催しました。多くの方と拉致問題を考えることができました。お越しいただいた皆さま、ありがとうございました。

議会中継
青木仁美 一般質問



青木仁美
X(旧Twitter)



青木仁美（あおきひとみ）

新宿区議会議員 令和5年4月初当選
参政党新宿まなびとまもりの会代表
関西学院大学文学部哲学科卒業
新宿区山吹町在住



発行元：参政党新宿まなびとまもりの会

162-0801 東京都新宿区山吹町366-1-1304

電話：050-3690-1501

メール：info@aokihitomi.com